

# **( 仮称 ) 苫小牧市民ホール建設基本計画**

平成 30 年 3 月

苫小牧市



# はじめに

本基本計画は、「(仮称) 苫小牧市民ホール建設基本構想」(以下、「基本構想」という)に基づき、新しい複合施設が備えるべき機能とその構成をまとめたものです。一般に、基本計画とは施策や事業を実施する上での基本的な方針と内容を示し、それらを実現するための過程と方法を簡明に説明するものです。特に公共施設の建設においては、建物の計画や設計を進めるための様々な与条件を整理する役割を担います。基本計画は、新しい施設で想定される活動に対応する適切な規模と用途を定め、建物の平面計画やボリューム<sup>注1)</sup>の基礎的な検討を行い、将来にわたって適切に維持管理するための考え方を整理し、施設整備の基本的な指針を示すものです。

一方、基本構想は、設計後の建設や竣工後の運営も含め一貫して最上位に位置づけられる価値判断基準であり、様々な検討過程における意志決定や合意形成において重要な指針となるものです。基本構想では、(仮称) 苫小牧市民ホール(以下、「市民ホール」という)の基本的な考え方として、事業の目標となるメインテーマを定めたとともに、7つの基本理念と4つの基本的な機能を示しました。メインテーマには「親近感と愛着を持てる憩いのプラザ(公共の広場)～苫小牧市民のサードプレイス<sup>注2)</sup>～」を掲げ、「新しい複合施設・市民プラザ」としての具体的な検討を重ねてきました。具体的には、用があるときだけ出向くのではなく、用がなくとも足を運びたくなる公共の広場となるよう整備を行うことによって、市民が思い思いの時間を過ごし、日常的に文化や芸術に触れ、そのような自然な活動を通して市民間のコミュニケーションが誘発されるようなコミュニティ空間の創出を目指しています。

本基本計画も、基本構想に立脚し策定されたものです。本基本計画では、基本構想で示されたテーマ・理念・機能に基づき、今後の整備手法の検討や管理運営計画の策定へ向けた施設整備の基本方針をまとめています。

---

注1) 建物が占める空間の大きさ。建物のおおよその規模。(英語：volume)

注2) 自宅(第一の居場所：ファーストプレイス)でも職場や学校(第二の居場所：セカンドプレイス)でもない、都市に暮らす人々が心の拠り所として集う第三の居場所。(英語：third place)

# 目次

## 第1章

### 基本計画の位置づけ

これまでの検討経緯の概要	11
上位計画・関連計画との関係	4
基本構想の概要	2
基本計画の位置づけ	1

## 第2章 敷地

防災対策	26
利用交通	23
周辺環境	18
建設予定地	16
敷地	15

## 第3章

### 事業計画

事業計画の基本的な考え方	30
事業計画	29

## 第4章

### 施設規模と機能

諸室の面積や設備	48
諸室の配置	46
ゾーニングと動線計画	41
施設の特徴	39
施設整備の基本的な考え方	38
施設規模と機能	37

第5章

**整備手法**

建設スケジュール	68
概算事業費	67
整備手法の考え方	62
<b>整備手法</b>	<b>61</b>

第6章

**管理運営体制と施設マネジメント**

収支	80
施設利用の考え方	78
施設マネジメントの基本的な考え方	77
管理運営組織	74
管理運営体制の基本的な考え方	72
<b>管理運営体制と施設マネジメント</b>	<b>71</b>

**資料編**

利用団体へのアンケート結果	(97)
市民参加事業	(89)
事業アイデア集	(21)
これまでの検討経緯	(1)
<b>資料編</b>	<b>(1) (21) (89) (97)</b>



検討委員会及びワーキンググループの様子（平成28年度第7回合同ワーキンググループ）